

[プレスリリース]

岡田／吉岡組が 470 世界選手権で銅メダル獲得 パリ 2024 オリンピックの代表選考で 1 歩リード



昨日の決勝シリーズ最終レースでの岡田／吉岡組

© Bernardí Bibiloni/Int. 470 Class

スペイン・マヨルカ島で開催された「2024年470級世界選手権大会」で、岡田奎樹（トヨタ自動車東日本）／吉岡美帆（ベネッセホールディングス）組が銅メダルを獲得しました。岡田／吉岡組は表彰台に上ったことでボーナスポイントを獲得。五輪代表選考で1歩リードしました。

上位10艇によるメダルレースが予定されていた最終日ですが、昨夜から大荒れの天気の影響でしばらく陸上待機に。ギリギリまで待ちましたが結局ノーレースとなり、昨日までの順位で成績が確定しました。初日から4日目まで首位だった磯崎哲也／関友里恵（ヤマハセーリングチーム'Revs'）は昨日、成績が振るわず8位に後退。表彰台には届きませんでした。

優勝は地元スペインのJordi Xammar（東京2020五輪男子470級銅メダリスト）／Nora Brugman組。2位はイギリスのVita Heathcote／Chris Brube組です。イギリスはこの大会で五輪の国枠出場権利を獲得しました。

パリ2024オリンピック・男女混合470級の日本代表選考は、3月29日から始まるプリンセスソフィア杯に続きます。

【選手コメント】

岡田 奎樹選手：辛坊強く粘らなければならないところが多く、緊張感が高いなかでできたことは良かったと思います。結果にも満足していますが、内容も良かったので満足しています。

吉岡 美帆選手：久しぶりの海外での大会で課題が残る部分もあったのですが、3位という結果で終えることができ良かったです。

磯崎 哲也選手：今回は悔しい結果に終わってしまいましたが、切り替えて次のプリンセスソフィア杯でトップを取れるようにがんばりたいです。

関友里恵選手：悔しいですが自分のすべきことは何なのかをもう一度整理して、気持ちを切り替えて次に臨みたいです。

【最終成績】（参加61艇）

1位：Jordi Xammar/Nora Brugman（スペイン）56ポイント

2位：Vita Heathcote/Chris Brube（イギリス）67ポイント

3位：岡田 奎樹（トヨタ自動車東日本）/吉岡 美帆（ベネッセホールディングス）72ポイント

4位：Simon Diesch/Anna Markfort（ドイツ）75ポイント

5位：Nitai Hasson/Noa Lasry（イスラエル）78ポイント

6位：Camille Lecointre/Jeremie Mion（フランス）82ポイント

7位：Anton Dahlberg/Lovisa Karlsson（スウェーデン）84ポイント

8位：磯崎 哲也/関 友里恵（ヤマハセーリングチーム'Revs'）85ポイント

9位：Martin Wrigley/Bettine Harris（イギリス）89ポイント

10位：Lara Vadlau/Lukas Maehr（オーストリア）90ポイント

11位：吉田 愛（キューズフィクス）/吉田 雄悟（ピアソンマリンジャパン）103ポイント

19位：高山 大智/盛田 冬華（ヤマハセーリングチーム'Revs'）123ポイント

報道用の写真・映像はこちらからダウンロードしてください。

<https://www.dropbox.com/scl/fo/5xwlyxe10y2nbcelp8n/h?rlkey=de6q85cpqm05kha7ld0q43f15&dl=0>



大会公式サイト：<https://2024worlds.470.org/en/default/races/race>

成績表：<https://2024worlds.470.org/en/default/races/race-resultsall>

【本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先】

日本セーリング連盟広報委員会 kohou@jsaf.or.jp
または 西 朝子 sailingnishi@gmail.com 090-1042-9262

JSAF 公式サイト <https://www.jsaf.or.jp/>
オリンピック強化委員会サイト <http://jsaf-osc.jp/>